

神奈川自衛隊音楽まつり2015

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、3月1日（日）、神奈川県民ホールで開催された「神奈川自衛隊音楽まつり2015」を支援した。

同音楽まつりは、神奈川地本支援団体協議会が主催し、入隊予定者の激励会を兼ねている。

同ホールには、黒岩神奈川県知事、佐藤航空集団司令官をはじめとする、約2千300人が来場し、陸自、海自、米軍の音楽隊、防衛大学校儀仗隊、第31普通科連隊と高等工科学校の合同和太鼓チーム及び横浜市立太尾小学校マーチングバンドの6団体が出演して、入隊予定者にエールを送った。

はじめに、入隊予定者と保護者の紹介が行われ、一般幹部候補生として陸上自衛隊に入隊予定の代表者がお礼の言葉を述べると、暖かい拍手がホールにこだました。



御祝いの言葉を述べる神奈川県知事



一般幹部候補生として陸上自衛隊に入隊予定の代表者がお礼の言葉



防衛大学校儀仗隊によるファンシードリル



第31普通科連隊と高等工科学校の合同和太鼓チーム

第1景は、防衛大学校儀仗隊によるファンシードリルの演技で幕が上がり、スリリングでキラのある鋭い動作に会場はどよめいた。

第2景は、第31普通科連隊と高等工科学校の合同和太鼓チームが「やまびこ」などを力強く演奏し、その音は観客の体の奥にズシリと届いていた。

第3景で登場したのは、全国大会2年連続金賞を受賞している、横浜市立太尾小学校マーチングバンドである。80名の生徒が「オペラ座の怪人」などを迫力満点で演奏した。

第4景では、陸海空の現役自衛官3名が登場し、御嶽山噴火に伴う災害派遣や離島における救急患者空輸などの体験談や先輩としての激励の言葉を贈った。



横浜市立太尾小学校マーチングバンド



陸海空の現役自衛官3名



陸上自衛隊第1音楽隊



在日米陸軍軍楽隊



海上自衛隊横須賀音楽隊

第5景は、7年ぶりとなる陸上自衛隊第1音楽隊が登場。「祝典行進曲」をはじめ、絢香（歌手）の「みんな空の下」やディズニークラシックのスタンダードナンバーとして有名な「聖者の行進」が演奏され、指揮者（隊長 穴戸一陸尉）の楽しいパフォーマンスも手伝って会場は大いに沸いた。

第6景は、キャンプ座間に駐留し、東日本大震災では、「トモダチ作戦」の一環として被災地で約4週間にわたる慰問演奏活動を行った、在日米陸軍軍楽隊が「Overture Jubilosso（序曲祝典）」などを軽快に演奏して入隊予定者を激励した。

第7景では、海上自衛隊横須賀音楽隊が登場し、同音楽隊初のボーカリストである中川一士が「レット・イット・ゴー」を披露した。最後に、陸海空の行進曲として馴染みの「凱旋」、「空の精鋭」、「軍艦」の3曲がメドレーで演奏されると、会場のボルテージは最高潮に達した。

フィナーレは、NHK総合テレビで放送された「生き物地球紀行」のエンディングテーマで、今でも小学校や中学校の卒業式などで歌われている「ピリッ」を全出演者と来場者が合唱し、幕が降りた。

県民ホールのロビーでは、「自衛隊の音楽まつり、とても良かったよ」と、誰かに携帯電話で話している人も見られた。神奈川地方協力本部は、主力をもって来場者の受付やステージ転換、駐車場の統制など、裏方として関わったが、入隊予定者やその保護者をはじめ、大勢の来場者が「音楽まつりに来て良かった」と思っている。フィナーレ、出演した音楽隊等が勢ぞろい



フィナーレ、出演した音楽隊等が勢ぞろい